

平成28年度県内各町伝統行事一覧（月別）

平成28年4月1日現在

区分	月 日	町 名 () 内は推薦順位	行 事 名
4月	3日(日)～10日(日)	上島町 (1)	いわぎ桜まつり
	第3土曜・日曜	砥部町 (1)	砥部焼まつり
	中旬～11月上旬	松野町 (1)	キャニオニング
	23日(土)	松前町 (2)	義農祭
5月	5日(木)	内子町 (1)	いかざき大凧合戦
6月			
7月	1日(金)～10日(日)	久万高原町 (2)	「石鎚山」お山開き
	30日(土)	内子町 (3)	小田燈籠まつり
	31日(日)	伊方町 (1)	きなはいや伊方まつり
8月	8月	鬼北町 (2)	四万十・源流広見川上り駅伝大会
	第1土曜日	久万高原町 (3) 松前町 (1)	久万山御用木まつり はんぎり競漕(まさき町夏祭り)
	6日(土)～7日(日)	内子町 (2)	内子笹まつり
	8月上旬	上島町 (2)	ふるさと夜市
	旧暦7月11日	愛南町 (1)	はなとりおどり
	13日(土)	松野町 (2)	森の国の夏まつり
	13日(土)～15日(月)頃	伊方町 (3)	佐田岬半島の初盆行事
9月			
10月	10月1～2日頃 (魚島) 10月8～9日頃 (生名島、岩城島、佐島、土生) 10月15～17日頃 (上弓削、久司浦) 10月14～16日頃 (下弓削) 10月22～23日頃 (引野、明神)	上島町 (3)	秋祭り
	10月8日(土)～9日(日) (10月第2土曜・日曜)	鬼北町 (1)	でちこんか
	第4日曜日	松野町 (3)	秋まつり
	毎年11月中の2日間	松前町 (3)	たわわ祭(まさき町産業まつり)
11月	11月3日(木)	愛南町 (3)	秋祭り
	13日(日)	伊方町 (2)	佐田岬マラソン大会
	11月上旬	砥部町 (3)	陶街道文化まつり、秋の砥部焼まつり
	旧暦10月18日	愛南町 (2)	正木の花とり踊り
12月			
1月			
2月	毎年2月	鬼北町 (3)	鬼北きじ鍋まつり
	2月下旬～3月上旬	砥部町 (2)	七折梅まつり
3月			
	不定期	久万高原町 (1)	川瀬歌舞伎

伝統行事調査一覧(各町別)

【上島町】

1	行事名	いわぎ桜まつり	 
	場所	岩城島	
	実施時期	4月3～10日	
	行事の概要	<p>岩城島の中央にそびえる積善山には、麓から山頂までの登山道沿いに3千本を超える桜が古くから植えられてきました。</p> <p>山頂展望台からは、360度の大パノラマが広がり、天気の良い日には四国山脈や中国山脈、瀬戸内海の島々が一望できます。</p> <p>そして、桜の開花時期に合わせ、毎年、桜まつりが盛大に開催されており、和太鼓演奏やフォトコンテスト等、多彩な催しが行われ、町内外からの多くの人で賑わいます。</p>	
2	行事名	ふるさと夜市	 
	場所	弓削島(弓削港周辺)	
	実施時期	8月上旬	
	行事の概要	<p>弓削港周辺を会場として行われる夏の一大イベント。</p> <p>会場内には、町内各島から島自慢の地元特産品等を販売する露店が軒を連ね、特設ステージでは太鼓演奏や浴衣コンテスト、お楽しみ抽選会等の催しが行われます。</p> <p>お祭りのフィナーレは弓削港内から打ち上げられる迫力満点の花火大会です。間近で見られると評判を呼び、帰省客だけでなく、この夜市に合わせて訪れる観光客も多く、年々盛り上がりを見せています。</p>	
3	行事名	秋祭り	   
	場所	弓削島各地区、佐島、生名島、岩城島、魚島	
	実施時期	10月1～2日頃 (魚島) 10月8～9日頃 (生名島、岩城島、佐島、土生) 10月15～17日頃 (上弓削、久司浦) 10月14～16日頃 (下弓削) 10月22～23日頃 (引野、明神)	
	行事の概要	<p>10月は上島町のお祭り月間。</p> <p>毎週末どこかの地区でお祭りが行われ、島中祭り一色になります。</p> <p>奴行列や獅子舞、担き比べ等、各島各地区ごとに特色があり見どころ満載です。</p>	

伝統行事調査一覧(各町別)

【久万高原町】

1	行事名	川瀬歌舞伎	
	場所	演技できる施設のある場所等(久万高原町直瀬地区で活動)	
	実施時期	不定期で公演。依頼等により上演することもある。	
	行事の概要	<p>川瀬歌舞伎は、現在、県内で唯一残る農村歌舞伎であり、県の無形民俗文化財に指定されています。</p> <p>明治期ごろから農閑期の娯楽として始まり、昭和36年、「川瀬歌舞伎保存会」が結成され、現在に至っています。</p> <p>会員は、30歳代～80歳代に至る老若男女が在籍し、主に三つの演題を演じています。</p> <p>公演は、地元公民館まつり、町文化協会発表会ほか町外においても依頼により行っていますが不定期です。</p> <p>平成28年度については町文化協会発表会で公演予定です。</p>	
2	行事名	「石鎚山」お山開き	
	場所	久万高原町(土小屋付近)	
	実施時期	7月1日から7月10日	
	行事の概要	<p>「石鎚山」は日本七霊山の一つに数えられ、今から1300年ほど前に、役小角(えんのおづぬ)が修験場として開山したとされる、石鎚連峰の中核を成す山です。</p> <p>頂上に至る登山道は、鎖のかかる断崖となっていますが、毎年7月1日から10日間開催される「石鎚山お山開き大祭」には、全国各地から多くの参拝者などが集まり賑わいます。</p> <p>この大祭は「石鎚神社頂上社」を中心に「中宮成就社」・「土小屋遙拝殿」・「口之宮本社」の四社において執り行われており、「仁」「智」「勇」の順に、3体のご神像を白装束の氏子らが担いで険しい山道を登ります。そして、山頂の「頂上社」に到着すると「ご神像拝戴」と呼ばれる神事を行い、1年間の無病息災を祈願します。</p>	
3	行事名	久万山御用木まつり	
	場所	久万高原町役場本庁及び商店	
	実施時期	8月第1土曜日	
	行事の概要	<p>松山城の築城にあたり、久万山からその用材を調達したという故事に基づき、林業後継者や商工業者が中心となって昭和59年から始められたまつりです。</p> <p>本町駐車場から久万高原町役場までの商店街(約550m)を、約6mの丸太を担いで一気に走り抜けるタイムレースです。</p> <p>参加者は衣装や演出も自由で、女性丸太レース・男性本命丸太等があります。</p>	

伝統行事調査一覧(各町別)

【松前町】

1	行事名	はんぎり競漕(まさき町夏祭り)	
	場所	塩屋海岸	
	実施時期	毎年8月第1土曜日	
	行事の概要	まさき町夏祭りのイベントの1つとして“はんぎり競漕”を塩屋海岸で開催しています。 はんぎり競漕は、海上に大きな「たらい」を浮かべ、体を前後に動かして漕ぐことで前に進み、その速さを競う全国的にも珍しい競技です。文禄年間に漁夫が、伝馬船代わりに「はんぎり」という木のたらいを使い、競って沖を漕ぎ渡ったことが由来とされ、古くから松前の海の伝統行事として守り継がれてきました。大きなたらいを巧みに乗りこなし、勇ましく漕ぎ進む姿は、松前町の夏の風物詩となっています。児童から大人まで参加いただき、多くの人の歓声を集めています。	
2	行事名	義農祭	
	場所	義農公園	
	実施時期	毎年4月23日	
	行事の概要	享保の大飢饉の際、自らの命と引き換え、麦種を後世に残した義農作兵衛翁の遺徳をしのび、作兵衛翁の「私」より「公」を、「己」より「他」を大切にする、義農精神を後世に受け継ぐため、毎年4月23日に義農祭を開催しています。 式典のほか、町内の児童や地域住民による義農太鼓・伊予万歳などの伝統芸能・演芸が披露されます。 また、会場内では松前特産の小魚などの海産物や、松前町内外の生産者が持ち寄った野菜・花・果物等が販売され、大勢の人で賑わっています。	
3	行事名	たわわ祭(松前町産業まつり)	
	場所	まさき村店舗前駐車場(エミフルMASAKI敷地内)	
	実施時期	毎年11月中の2日間	
	行事の概要	「恵み、めぐるまち、まさき」の商工水産の恵みが結集するイベントとして、“たわわ祭(まさき町産業まつり)”を開催しています。 会場では、特産品などの展示販売をはじめ、飲食店の実演販売、企業展、ステージパフォーマンスが行われ、バラエティに富んだ内容となっております。 子どもから大人まで松前町の魅力を実感し、楽しめるイベントとなっており、大勢の人で賑わっています。	

伝統行事調査一覧(各町別)

【砥部町】

1	行事名	砥部焼まつり	
	場所	砥部町陶街道ゆとり公園、砥部焼伝統産業会館周辺	
	実施時期	4月第3土・日曜日	
	行事の概要	砥部焼の全窯元(約100軒)が勢ぞろいし、約10万点余りの作品を一堂に集めた大即売会をはじめ、新しい砥部焼に出会える新作展など多彩なイベントや物産即売会が開催されます。	
2	行事名	七折梅まつり	
	場所	七折梅園	
	実施時期	2月下旬～3月上旬	
	行事の概要	と質の良さで知られる「七折小梅」の産地、砥部町七折地区で、早春の訪れを告げる「七折梅まつり」が開催されます。七折小梅をはじめ約30種、1万6千本の梅の木が咲き誇る梅園周辺では、梅加工品や農産物の販売が行われます。	
3	行事名	陶街道文化まつり、秋の砥部焼まつり	
	場所	砥部町中央公民館、ひろた交流センター、砥部焼伝統産業会館周辺	
	実施時期	11月上旬	
	行事の概要	砥部町自慢の技や逸品、特産品が一挙に大集合、砥部町を満喫する2日間です。中央公民館では、陶芸、絵画などを展示する芸術文化フェスタや、七折小梅の加工品などを即売する町産品フェスタが、ひろた交流センターでは、各種ショー、農林産物の販売、もちまきなどの広田ふるさとフェスタが開催されます。砥部焼伝統産業会館周辺では、歩行者天国となった町道に、砥部焼の窯元ブースが出店して、対面販売を行います。また、砥部焼オークション、クイズ、ショータイムなど多彩なイベントが行われます。	

伝統行事調査一覧(各町別)

【内子町】

1	行事名	いかざき大凧合戦	
	場所	内子町五十崎 豊秋河原	
	実施時期	5月5日(雨天時は延期)	
	行事の概要	いかざき大凧合戦は約400年の歴史を持った、内子町最大の伝承行事です。小田川をはさんで、約500統の大凧が空中に舞い上がる様子に見物客は大喜び！凧に仕込んだ「ガガリ」と呼ばれる刃物で相手の糸を切りあう勇壮な戦いが繰り広げられます。毎年5月5に行われるこの行事は県無形民俗文化財に指定されています。	
2	行事名	内子笹まつり	
	場所	内子町内子 本町商店街	
	実施時期	8月6・7日	
	行事の概要	約70本の笹飾りが約1キロメートルの商店街を彩る夏の恒例行事。一抱え以上もあるくす玉や、わっか、吹き流しが装飾された笹飾りは訪れた人々に華やかな雰囲気を与えてくれます。開催される2日間は歩行者天国となり、祭りの2日目の夜は「笹踊りコンクール」が行われ、豪華な笹飾りの下を練り歩き、お祭りを盛り上げます。他にも相撲大会や町並み撮影会など多彩なイベントを開催。「愛媛のまつり五十選」に選ばれ、毎年約2万人の人出で賑わいます。	
3	行事名	小田燈籠まつり	
	場所	内子町寺村 寺村商店街付近	
	実施時期	7月30日	
	行事の概要	寺村山の神火祭りは六角山の下に幻想的に浮かび上がる「山ノ神」の火文字と「オヒカリ」と呼ばれる約5000の灯りが灯されます。文政6年(1823年)から続く伝統行事で、山の幸と秋の豊作を祈る想いが込められています。山里に轟く打ち上げ花火は夜空を美しく彩り、夏の思い出を作ってくれます。商店街には数多くの夜店が軒を連ね、喜鼓里太鼓、ライブ演奏などで賑わっています。フォトコンテストも開催されるので、気軽に応募してみてもいいです。	




伝統行事調査一覧(各町別)

【伊方町】

1	行事名	きなはいや伊方まつり	
	場所	伊方町湊浦	
	実施時期	7月31日(日)	
	行事の概要	<p>毎年恒例となっている町内最大のイベント。地元の特産品などを販売するきなはいや市場や子どもすもう伊方場所、キャラクターショー、活魚のつかみどり、伊方おどりなど多彩な催しが行われ、イベントラストには約5000発の花火が打ち上げられる。</p>	
2	行事名	佐田岬マラソン大会	
	場所	瀬戸中学校出発	
	実施時期	11月13日(日)	
	行事の概要	<p>日本で一番細くて長い佐田岬半島を走るマラソンイベント。半島の宇和海側がコースでアップダウンが多く厳しいが、宇和海を一望でき遠く九州も見渡せる風光明媚なロケーションを楽しめる。出発地点の瀬戸中学校では、ちりめん井や伊勢えびのお味噌汁、柑橘など地元特産品などを販売している。</p> <p>【コース】 ハーフマラソン(21.097km)、クォーターマラソン(10.548km)、デシマラソン(4.219km)</p>	
3	行事名	佐田岬半島の初盆行事	 <p style="text-align: right;">←おしよろ舟「地藏丸」(大)</p> <p style="text-align: center;">モウナ(松)</p>
	場所	伊方町内	
	実施時期	8月13～15日頃	
	行事の概要	<p>伊方町内の多彩なお盆の行事は、「佐田岬半島の初盆行事」という名称で国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されており、一部の行事は映像記録が作成されている。</p> <p>九町地区の盆踊り「きそん(節)」、(町指定無形民俗文化財)や、瀬戸地域(大江、川之浜、大久)の「おしよろ舟」、川之浜地区の「なっぼいど」、松地区の「モウナ」などがある。</p>	



伝統行事調査一覧(各町別)

【松野町】

1	行事名	キャニオニング	
	場所	滑床溪谷	
	実施時期	4月中旬～11月上旬	
	行事の概要	<p>滑床溪谷では昔から川遊びが盛んにおこなわれてきた。特に、日本の滝100選に選ばれている「雪輪の滝」を滑る遊びは、地元では昔からおこなわれていた夏の風物詩である。</p> <p>近年、リバースポーツとして安全性に配慮した装備を装着し、専門のガイドの指導のもとおこなわれるようになった。</p> <p>マスコミ等に取り上げられたり、体験者の口コミ等もあり体験者は年々増加傾向にある。</p> <p>近隣市町のアウトドアスポーツとの連携も進めている。</p>	
2	行事名	森の国の夏まつり	
	場所	松野町大字延野々 虹の森公園周辺	
	実施時期	8月13日	
	行事の概要	<p>毎年夏に開催される「森の国の夏まつり」は、先祖供養の御施餓鬼にはじまり、伝統の曲目を中心に盆踊り大会、松野町が誇る鬼城太鼓の演奏、ガーデンパーティーなどが目白押しで、この日は、松野町の人口が倍以上に膨らむ。</p> <p>なかでも、まつり終盤の花火大会は、まさに目の前に広がる花火と鬼城太鼓の演奏が絶妙にマッチし、日本一の花火大会(自称)である。</p>	
3	行事名	秋まつり	
	場所	松野町内(松丸地区、吉野生地区)	
	実施時期	10月第4日曜日	
	行事の概要	<p>五穀豊穡を祝う伝統的祭り。松丸地区では牛鬼・四ツ太鼓、吉野生地区では獅子舞・五ツ鹿踊り・牛鬼・四ツ太鼓、大名行列などが町を練り歩きます。牛鬼と四ツ太鼓の鉢合わせは見物。</p>	

伝統行事調査一覧(各町別)

【鬼北町】



1	行事名	でちこんか	
	場所	鬼北町近永800番地1鬼北町役場裏 河川敷	
	実施時期	平成28年10月8・9日（10月第2土曜・日曜）	
	行事の概要	<p>「でちこんか」とは、鬼北町の方言で「出てきませんか」という意味。旧広見町合併40周年を記念して平成6年から始まり、合併後も鬼北町の一大イベントとして開催しています。</p> <p>前夜祭では、特設ステージにおいて、鬼北町の太鼓集団「魁」をはじめとする県内外の太鼓集団が熱い邦楽ライブを展開。当日には、歌やダンスなどの多彩なパフォーマンスの他、町内外の約100のお店が軒を連ねる「びっくり市」や川魚のつかみどり、恒例のジャンボきじ鍋の無料提供など、毎年多くの来場客で賑わっています。</p>	
2	行事名	四万十・源流広見川上り駅伝大会	
	場所	鬼北町大字広見～鬼北町大字延川間の広見川流域	
	実施時期	8月	
	行事の概要	<p>日本最後の清流四万十川の最大の支流である広見川を舞台に開催される「四万十・源流広見川上り駅伝大会」。鬼北町の夏の一大イベントである本大会には、町内外から多くの人たちが出場し、大会を盛り上げています。</p> <p>「川の流れに逆らいながら、上流のゴール目指して走る」「水のあるところしか走ってはいけない」という珍しいルールに、年々出場者が増加。出場した人たちは、想像以上の自然の厳しさに苦戦しながらも、8人(女子は5人)の仲間とたすき代わりにヘルメットを繋ぎ、絆を深めながら懸命にゴールを目指しています。1人で3区間を走りぬく鉄人の部も見どころです。</p>	


3	行事名	鬼北きじ鍋まつり
	場所	鬼北町岩谷 鬼北町農業公社
	実施時期	毎年2月
	行事の概要	<p>日本最後の清流「四万十川」上流域の自然豊かな鬼北町では「きじ」を飼育しており、平成4年度から第3セクターの事業として500羽規模のきじ飼育を開始し、現在、地域振興の柱となる特産品として位置づけ年間3万羽規模の産地形成を目指しています。</p> <p>鬼北町では、特産の「鬼北熟成きじ」を多くの人に味わってもらおうと、毎年2月に「きじ鍋まつり」を開催しています。</p> <p>当日は、メインとなる「きじ鍋」のほか、「きじ飯」「きじの串焼き」や「きじそば」も販売。また、地元産の野菜や「どぶろく」など、さまざまな店舗が軒を連ねます。さらに、「愛治ちんどんクラブ」が生演奏を披露し、大いに会場を盛り上げます。</p> <p>昨年度は「鬼嫁コンテスト」も同時開催され、大勢の来場者でにぎわいました。</p>



伝統行事調査一覧(各町別)

【愛南町】

1	行事名	はなとりおどり	
	場所	愛媛県南宇和郡愛南町増田2648番地(安養寺)	
	実施時期	旧暦7月11日	
	行事の概要	<p>南予の一部と土佐一円にみられる花取り踊りは、修験道の山伏芸能のひとつで、鉦(かね)を叩く行為や歌詞から念仏踊りが取り入れられたことが分かる。</p> <p>この増田地区のはなとりおどりは、昭和40年4月2日に愛媛県の文化財に指定された伝統芸能で、一本松町史によると、起源は元亀天正年間にまで遡り約440年の歴史を持つといわれている。</p> <p>この踊りには3つの目的があるといわれ、第一は増田安養寺に祀られる「高山尊神」の供養、第二はちよぼし弥三郎兄弟の供養、第三は地域内の安全とされている。また、演中の斎払い(さいはらい)は本山派<天台系>と当山派<真言系>の争いを表し、青竹の打ち合いは土佐の神事「棒打ち」の影響がみられる。</p> <p>踊りに用いられる刀は破邪の剣、平常嫌う逆さ鎌は破魔除災を表している。</p> <p>旧暦の7月11日に安養寺境内で、麻の藍染の着流しにたすきを掛け、八十八部の帽子様の鉢巻で踊る。その際は、7日間の水垢離で身を清めて踊るのが習わしである。</p>	
2	行事名	正木の花とり踊り	
	場所	愛媛県南宇和郡愛南町正木1468番地外(歓喜光寺・権現堂・旧庄屋蔵岡家)	
	実施時期	旧暦10月18日	
	行事の概要	<p>南予の一部と土佐一円にみられる花取り踊りは、修験道の山伏芸能のひとつで、鉦(かね)を叩く行為や歌詞から念仏踊りが取り入れられたことが分かる。</p> <p>この正木地区の花とり踊りは、平成12年4月18日に愛媛県の文化財に指定された伝統芸能で、一本松町史によると、起源は明確ではないが、増田地区の「はなとりおどり」の歌詞は、正木地区の「花とり踊り」から習ったという説があることから、元亀天正年間をさらに遡るのではないかと提起している。</p> <p>正木の花とり踊りは、由来についてもあまりはっきりしないが、一説では、村内を荒らす花賀という悪者を討取ったことへの供養と伝えられており、篠山権現の祭礼の日にあたる旧暦10月18日に、篠山<現在は歓喜光寺権現堂>、歓喜光寺境内及び旧庄屋蔵岡家で、雪輪笹紋の袖無上衣に裁着袴(たっつけばかま)、赤い鉢巻で踊る。その際は、7日間の水垢離で身を清めて踊るのが習わしである。</p>	

3	行事名	秋祭り	
	場所	愛南町内一円	
	実施時期	11月3日	
	行事の概要	<p>農作物の収穫を感謝し、五穀豊穡を祈願して毎年11月3日に開催される。御荘町史や一本松町史によると、かつてはそれぞれの地区が異なった日に秋祭りを行っていたが、大正3年(1914年)、当時の南宇和郡長の提案に郡内各町村が応じて、明治天皇の誕生日である11月3日に統一された。当日、町内各地区では牛鬼、唐獅子、五ツ鹿踊りのほか、四ツ太鼓や神輿が繰り出して笛や太鼓の祭囃子、大きな掛け声が終日響き渡り、町内が祭り一色に染まる。</p>	